



社会の安全と発展のために

 **株式会社セック**
SEC Systems Engineering Consultants Co.,LTD.

<https://www.sec.co.jp> 証券コード:3741

事業内容 | 会社概要「リアルタイム技術専門のソフトウェア会社」



Systems Engineering Consultants Co.,LTD.

システムズエンジニアリング(システム工学)を究めた**プロの技術者集団**を目指す

- 設 立 1970年5月
- 事業内容 リアルタイムソフトウェア 及び ソリューションの提供
- 上場市場 東証プライム: 証券コード 3741
- 資本金 4億7,730万円
- 従業員数 375名(2024年4月1日現在)
- 本社住所 東京都世田谷区用賀 4-10-1 世田谷ビジネススクエア
- URL <https://www.sec.co.jp>
- 主要顧客及び取引先
 - 大手通信キャリア、大手電機メーカー、大手自動車メーカー、官公庁など
 - 研究機関(情報通信研究機構、宇宙航空研究開発機構など)



東京本社
(東京都世田谷区用賀 世田谷ビジネススクエア)

事業内容 | リアルタイム技術

「リアルタイム技術」の可能性は無限です

科学衛星やロボットのように、センサーが捉えた情報を入力とするシステムの開発を、セックは得意としています。

センサーからの入力、突然発生したり、集中したり、どんな順序で発生するか予測できず、再現性がありません。

このような入力に対して、瞬時に応答し、24時間連続で動き、再現性がない事象であってもトラブルを解析できる、高度な信頼性が求められるシステムを設計する技術が、「リアルタイム技術」です。



Point①

リアルタイム技術の適用先は先端分野

リアルタイム技術は、サイエンスを支えるシステムエンジニアリング技術であり、その適用分野は必然的に先端分野です。

Point②

リアルタイム技術は普遍的

創業当時はダムや電波望遠鏡の制御システム、現在では車両自動走行、ロボットにIoTと、リアルタイム技術の適用先はますます拡大しています。

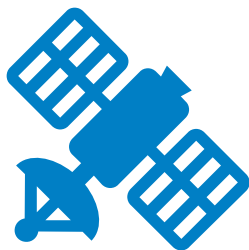
Point③

リアルタイム技術は高品質・高信頼性

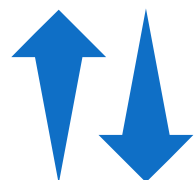
リアルタイム技術は信頼性の高いシステムを設計できる技術でもあります。社会の基盤を支えるシステムに、より一層の信頼性が求められる時代、そのニーズに応えます。

リアルタイム技術

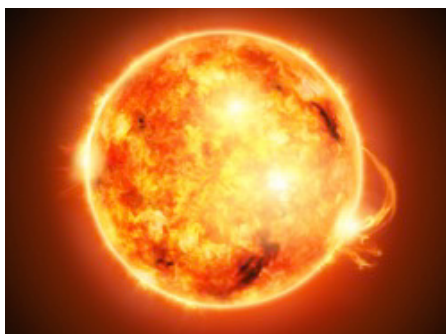
衛星搭載
ソフトウェア



天文現象
を感知



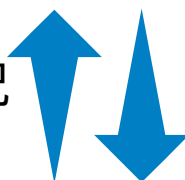
撮影



自動走行
ソフトウェア



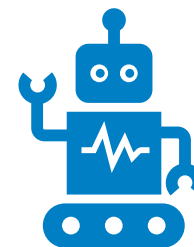
道路状況
を把握



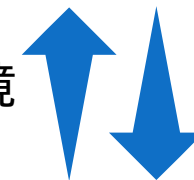
安全で
最適な
走行



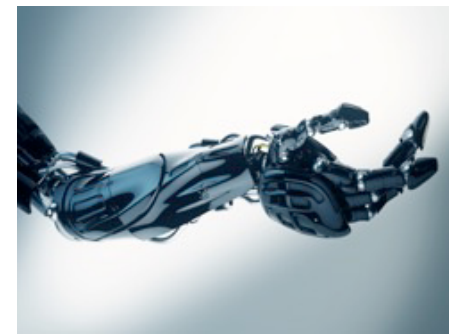
ロボット制御
ソフトウェア



周辺環境
を認識



人・環境に
配慮した
アクション



事業内容 | 会社理念「社会の安全と発展のために」

社会の安全と発展にかけがえのない一流のソフトウェア会社となる



事業内容 | 社会基盤システムBF

世の中をもっと便利に、安全にするソフトウェアを開発

高度交通システム、防衛関連システム、医療関連システム、
環境エネルギー関連システム、位置情報管理システム、官公庁向けシステムなどを開発しています。



高度交通システム
ETC/VICS(渋滞情報)



位置情報サービス
ロードサービス・緊急通報



緊急医療支援システム



医薬品・医療機器
安全対策支援システム



防衛関連システム



ヘルスケア関連システム



官公庁向けシステム
家畜個体把握・各種統計・防災関連

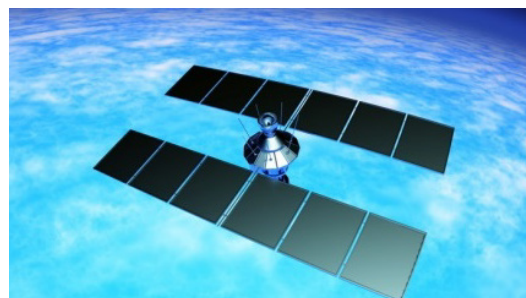


環境エネルギー
マネジメントシステム

事業内容 | 宇宙先端システムBF

人類の夢を叶えるソフトウェアの開発に挑戦

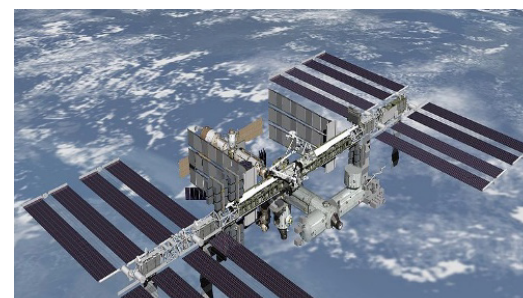
科学衛星や惑星探査機の搭載システム、観測データ解析システムなどの開発と、次世代ロボットに関する研究開発、サービスロボットシステムの開発をしています。



衛星搭載システム
ひので、はやぶさ2など



スペースデブリ除去衛星
フライト制御ソフト開発



国際宇宙ステーション
「きぼう」日本実験棟実験装置



天体望遠鏡制御システム
すばる望遠鏡など



ロボット標準化技術
RTミドルウェア、ROS



車両自動走行



自動制御ソフトウェア
船舶、ドローン、トラクター

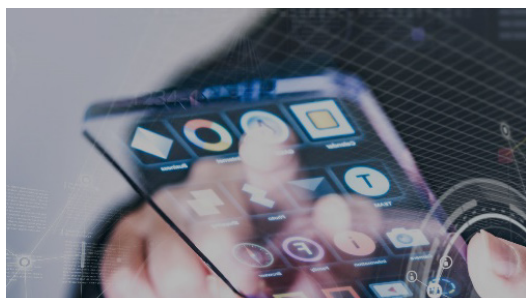


研究機関向けシステム
NICT、JAXA、大学など

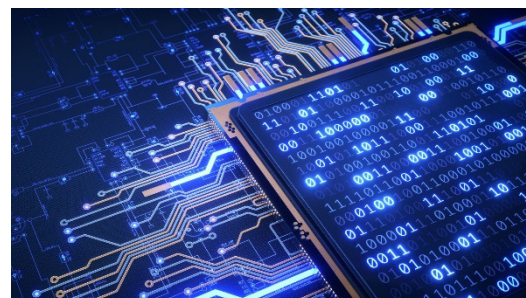
事業内容 | モバイルネットワークBF・インターネットBF

次世代のエッジデバイスと IoT のソフトウェア

キャッシュレス決済端末や車載端末などモバイルデバイスを使ったサービスシステム、IoT関連システム、スマートコンストラクション、XR(クロスリアリティ)など次世代技術を使ったエッジデバイスのソフトウェアを開発しています。



モバイルデバイス搭載機能



非接触IC搭載ソフトウェア



キャッシュレス
モバイル決済端末



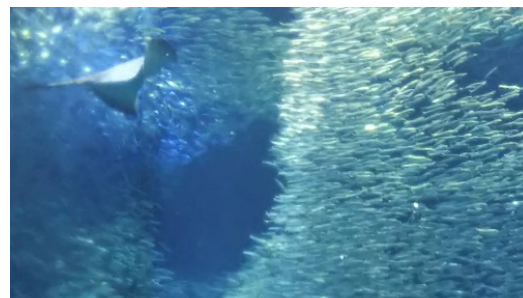
車載インフォテインメント
ソフトウェア



スマートコンストラクション



IoT
暑熱作業リスク管理システム



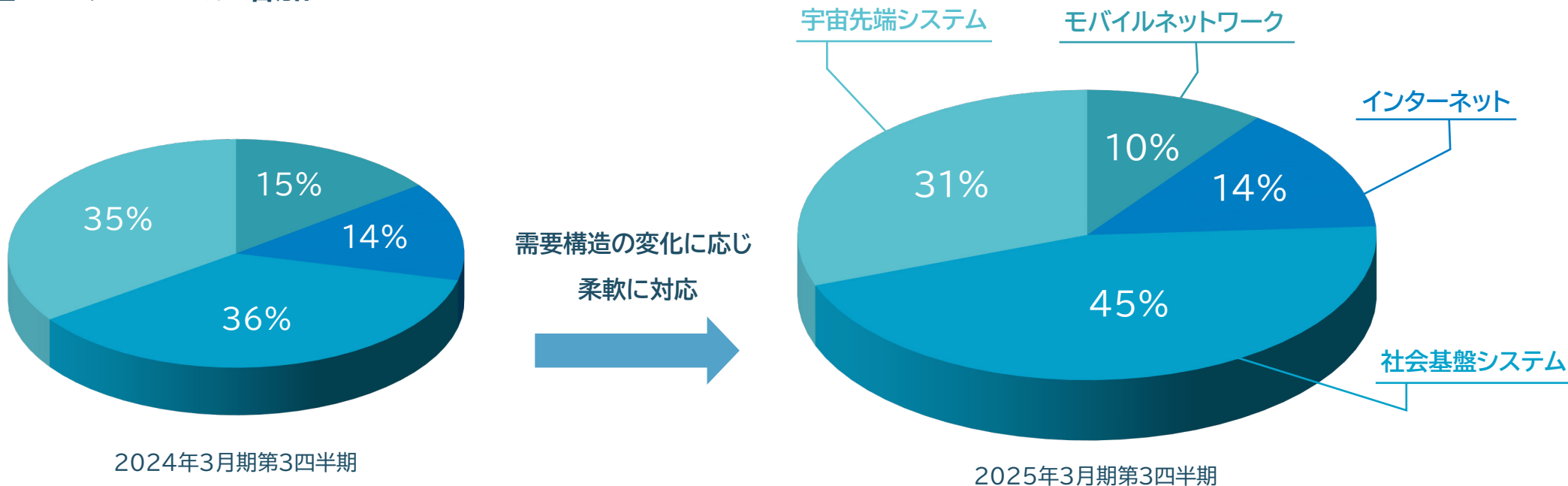
IoT
海中資源管理



XR技術関連開発

事業内容 | 第3四半期BF別売上構成比

社会基盤システムBFが増加



モバイルネットワークBF

スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少

インターネットBF

非接触IC関連の開発が堅調であることに加え、民間企業向けのDX関連の開発が増加したが、全体構成比では変動なし

社会基盤システムBF

環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も増加

宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が増加したが、全体構成比では減少

特徴と強み | プロフェッショナル化の推進

ソフトウェアビジネスは人間力が競争の源泉



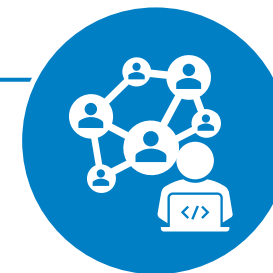
品質は文化であり、
品質こそが競争力の源泉

社員全員が
「同じ言葉」
「同じ開発手法」
「同じ品質意識」を持つ。



きちんとした基礎なくして
高度な専門性なし

新卒採用へのこだわり。
新入社員教育6ヶ月の集合教育
で、コンピュータの基礎を身に
つける。



仕事を通して
専門性を高める

「学ぶ組織」を目指す。
プロに「教える」と「育てる」は
ない。「学ぶ」と「育つ」がある
のみ。

質の良い仕事人が人をつくり、人が仕事をつくる

特徴と強み | チャレンジする風土

自動運転AIチャレンジ 2024

自動車業界を牽引する技術者の発掘育成を目的としたプログラミング競技大会。社員有志が2022年からチャレンジしており、今回は3位入賞。



生成AI 社内ハッカソン(SEC Challenge)

イノベーション推進委員会が主催し、生成AIを活用した社内コンテストを開催。開催2回目の今年は28チーム58名が参加。



ロボット開発技術探求プロジェクト SETAGAYA Eclipse

ハードウェアに関する知見獲得を目的としたプロジェクト。若手を中心に、ロボット競技を核としたエンジニア選手権「CoRE 1部リーグ」に参戦。



JSCAS AI Challenge 2024

(日本コンピュータ外科学会)

内視鏡外科領域でのAI人材育成を目的としたAI競技会。内視鏡外科手術の血管処理認識モデルの開発で、当社社員が2位入賞。



先端技術を窮め、 オープン・イノベーションで事業成長を目指す

「研究開発」

1. 1社完結の研究開発以外に、大学や国、企業の研究機関、ハードウェアベンダとの最先端技術でのアライアンスを積極的に推進する。
2. 特に、AIやチップ開発、無重力環境で動作するロボットなど、新しい技術の研究に注力する。

「高付加価値化」

1. 情報科学、統計などのアプローチから有益な知見やビジネス上の便益を見出すことで、さまざまなビジネス変革の可能性を提案する。
2. 研究開発・製品開発活動により得たニューエレメントを核として、主体的なビジネスを推進する。

「人的資本投資」

1. AI、デザイン思考、データサイエンス、セキュリティ、クラウドを中心に技術教育を強化する。
2. ロボットやFPGAなどハードウェアにも強い人材育成を強化する。

今後の展開 | 「人」と「サイバー・フィジカル空間」の融合 (NEDO公募事業)

住宅・ビル等の人協調ロボティクスの社会実装技術開発

「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」(NEDO公募事業)

「人」と「サイバー・フィジカル空間」が融合した「HCPS(Human-Cyber-Physical Space)融合人協調ロボティクス」の技術開発・社会実装を推進することで、人とテクノロジーが相互に支えあう、テクノピアサポート社会の実現を目指しています。

- ロボットフレンドリーな環境の構築
- 人に寄り添う「おもてなしロボットサービス」の実用化・事業化 など



仮想空間(デジタルツイン)にロボットの動作環境を構築。仮想空間の情報を現実動作するロボットへ、ロボットが得た現実空間の情報を仮想空間へ相互に反映し、ロボットフレンドリーな環境を実現します。

研究代表者: 株式会社セック

共同提案者: 川崎重工業株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所、名城大学、株式会社キビテク

第41回 ロボット工学とオートメーションに関する国際会議 (ICRA2024)に出展

集合住宅やオフィスビル等で人協調ロボティクスの適用が考えられる「荷物受け取り」について、デモンストレーションを行いました。

今後の展開 | エッジコンピューティング(NEDO公募事業)

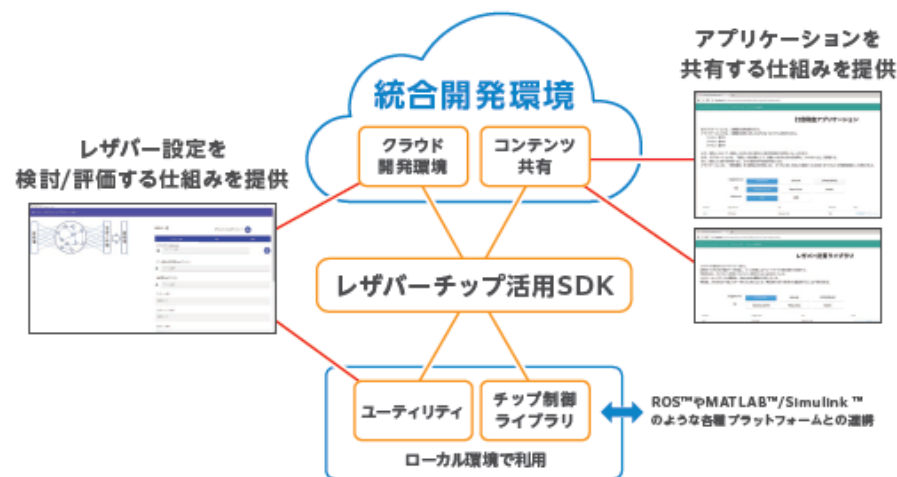
エッジAIチップの開発

NEDO公募事業「高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発」

2022年4月にスタートした本プロジェクトでは、人の脳の仕組みを数式化した機械学習アルゴリズムのひとつであるレザバー計算モデルを実行する集積回路チップ(エッジAIチップ)を開発し、AIを搭載したエッジデバイスとしてロボットやIoT分野への応用と実用化を目指しています。

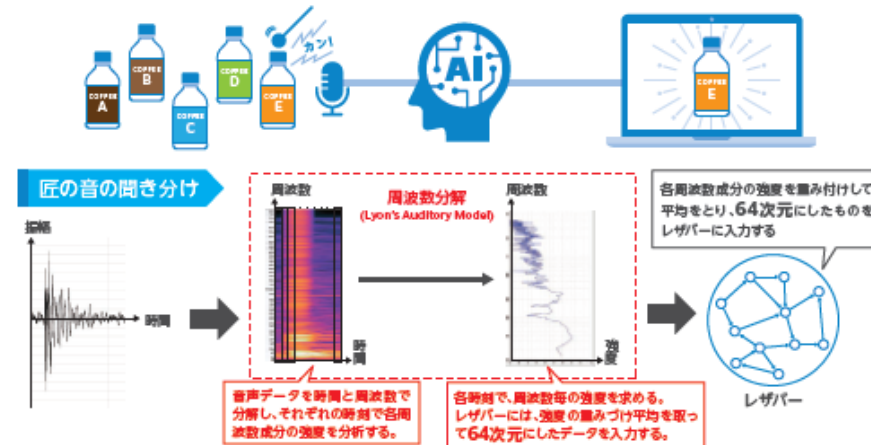
レザバーチップ活用SDKを開発

レザバーチップを利用したアプリケーションを開発するための様々なツールを開発しました。



事例: 打音検査への適用例

各打音をエッジAIで学習することで、どの打音かを識別します。少量の学習データで、学習時間も数分で完了するため、現場でデータ収集・学習を行うことが可能です。



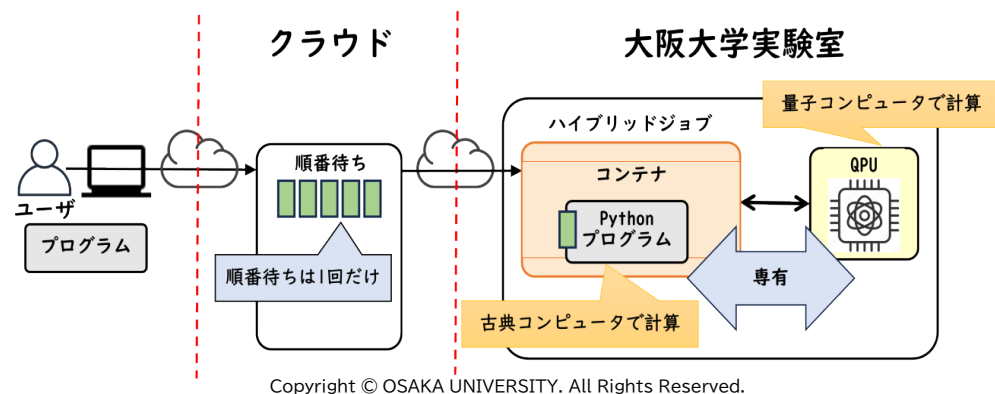
今後の展開 | 量子ソフトウェア

量子コンピュータの利用を高速化するソフトウェアの開発

従来のコンピュータを凌駕する計算能力を期待されている量子コンピュータ。その実用化には量子ソフトウェアが必要となります。大阪大学を中心とした共同研究チームの一員として量子ソフトウェアの研究開発を推進し、量子コンピュータを利用するためのクラウドソフトウェアの開発、画像処理への量子コンピューティングの応用などに取り組んでいます。

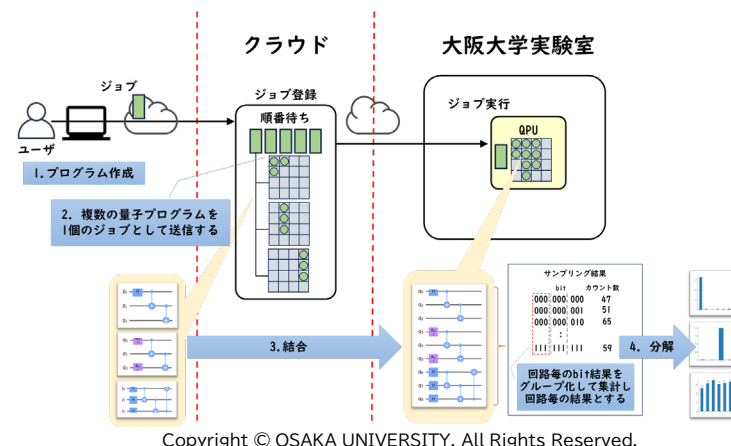
量子計算と古典計算の協調処理を高速化する機能を開発

量子計算と古典計算(従来型コンピュータでの演算処理)をかけあわせた協調処理を行う「量子古典ハイブリッドアルゴリズム」を高速に実行する機能を開発し、大阪大学の量子コンピュータ・クラウドサービスで提供を開始しました。



量子プログラムを高速化する量子マルチプログラミング機能を開発

複数の量子プログラムを並列実行する機能を開発し、大阪大学の量子コンピュータ・クラウドサービス上で提供を開始しました。**量子マルチプログラミングをクラウドサービスで提供するのは世界初です。**



今後の展開 | 宇宙ロボット

変形型月面ロボットLEV-2(愛称: **SORA-Q**)の開発に協力

SORA-Qは月面低重力環境下における超小型ロボットの探査技術の実証を目的としたロボットです。小型月着陸実証機「SLIM(スリム)」に搭載・放出され、月面を移動しながらの撮影に成功しました。当社は撮影やデータ取得など一連の動作を状況判断しながら自律的に行うソフトウェアの一部を開発しました。

2023年9月7日 当社ニュースリリース :

https://www.sec.co.jp/ja/ir/news/auto_20230906551622/pdfFile.pdf



変形型月面ロボット「SORA-Q(ソラキュー)」

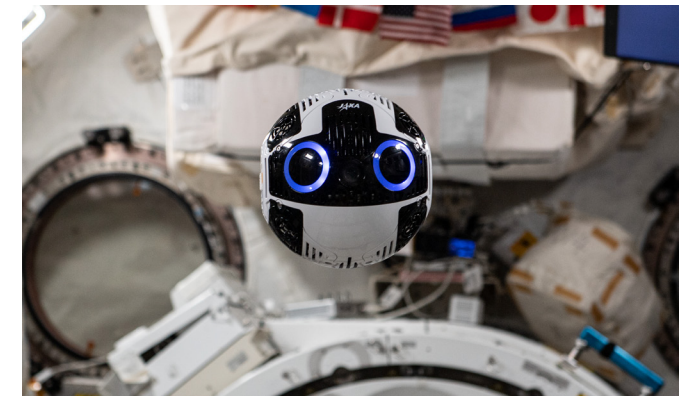
クレジット JAXA/タカラトミー/ソニーグループ(株)/同志社大学

ISS船内ドローン「**Int-Ball2**」のソフトウェアを開発

Int-Ball2は、ISSでステーションで活動する宇宙飛行士を支援する、JAXAの船内ドローンです。当社は、JAXAからの委託を受け、Int-Ball2に内包されている各種ソフトウェアを統括するシステム統合ソフトウェア、軌道上のInt-Ball2から受信した遠隔監視データを可視化し、Int-Ball2を遠隔操作する地上運用支援システムの開発を担当しました。

2023年6月20日 当社ニュースリリース :

https://www.sec.co.jp/ja/ir/news/auto_20230620507022/pdfFile.pdf



「きぼう」船内を航行するInt-Ball2

画像提供: JAXA/NASA

今後の展開 | 宇宙ロボット

パイロードの管理・運搬・操作ロボットシステム『PORTRS』 ISS実証用システムの開発（JAXAの技術提案方式の調達案件）

「PORTRS」は、国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟で動作する多肢ロボットを地上から遠隔操作することにより、実験サンプルなどの物品の搬送・操作や、船内の状態の確認・監視を自動化するためのシステムです。ISS船内の作業効率化や宇宙飛行士の作業軽減を目的とし、2024年3月にスタートしました。

代表者：株式会社セック

共同提案者：株式会社浜野製作所/株式会社ウェルリサーチ/コニカミノルタ株式会社

2024年3月11日 当社ニュースリリース：

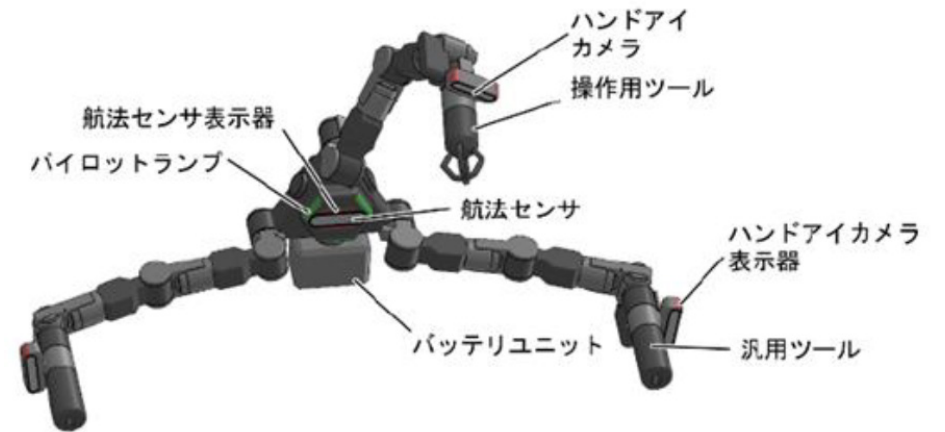
<https://www.sec.co.jp/ja/ir/news/news71932186239469261.html>

「きぼう」自動実験システム(GEMPAK)の開発 ロボット制御系開発（JAXAの技術提供方式の受託案件）

GEMPAKは、ロボットアームを活用した「きぼう」船内で運用する自動実験システムです。小動物飼育ミッションにおける操作を主テーマとし、研究者や利用者が自ら操作できる宇宙実験・利用の機会提供を目指しています。

2025年1月21日 当社ニュースリリース：

<https://www.sec.co.jp/ja/ir/news/news3209137853238837334.html>



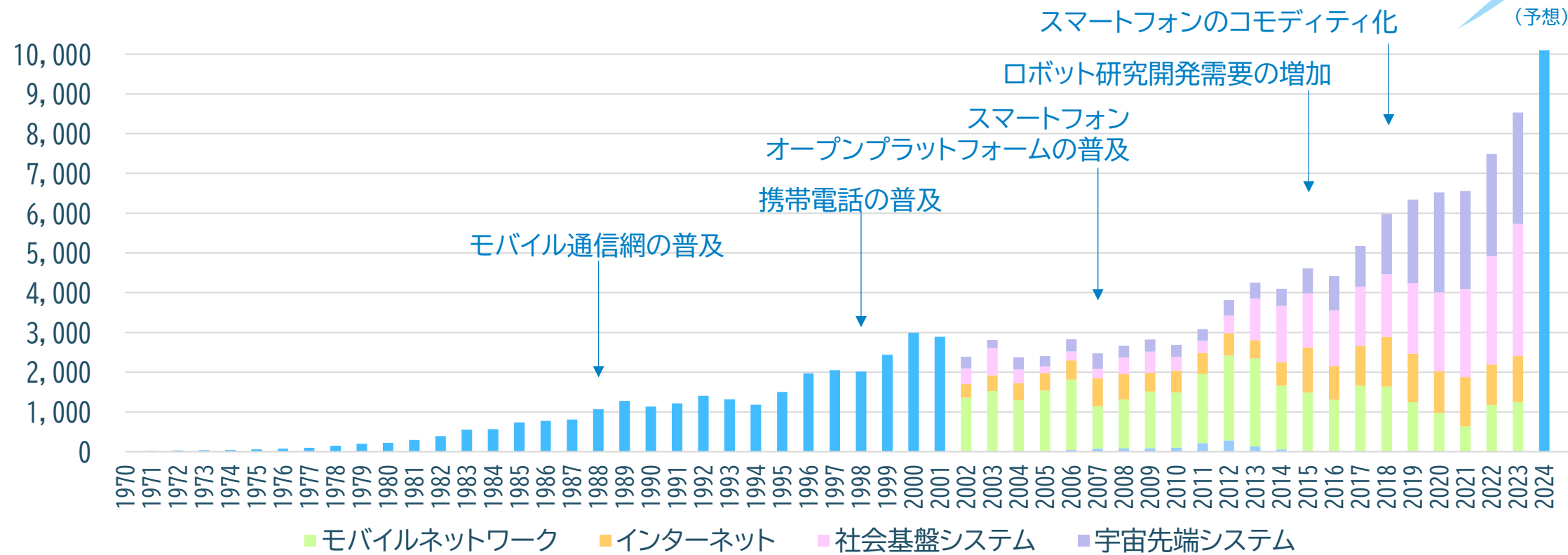
RFP※提案時の多肢ロボット外観イメージ
※JAXAの企画競争入札の技術提案方式
(Request for Proposal方式)

業績の推移 | 創業来の業績推移

変化は成長の源泉

繰り返し到来する技術革新の波は、当社にとって大きな成長のチャンスです。
今後も変化に対応できる人材の育成に注力し、研究開発で変化を先取りし、飛躍的な成長を目指します。

売上高(百万円)



業績の推移 | 2025年3月期第3四半期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、
前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前年同期比	利益率
売上高	7,093	116.7%	
営業利益	1,249	118.3%	17.6%
経常利益	1,319	119.4%	18.6%
当期純利益	922	119.7%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前年同期比
受注高	7,539	133.1%
受注残高	6,215	185.8%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

官公庁向けの開発が引き続き好調であり、医療分野や防衛分野の開発も増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前年同期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

業績の推移 | 2025年3月期業績見通し

売上高、利益面ともに計画を上回る見込みであるため、業績見通しを上方修正

	2024年3月期実績(百万円)	2025年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	8, 534	10, 100	118. 3
売上原価	5, 983	7, 070	118. 2
売上総利益	2, 550	3, 030	118. 8
販売管理費	1, 083	1, 250	115. 4
営業利益 (営業利益率)	1, 467 (17. 2%)	1, 780 (17. 6%)	121. 3
経常利益 (経常利益率)	1, 547 (18. 1%)	1, 880 (18. 6%)	121. 5
当期純利益	1, 105	1, 300	117. 6

売上高 官公庁向けの開発が好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も大幅に増加し、前期比約18%増を見込む

売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む

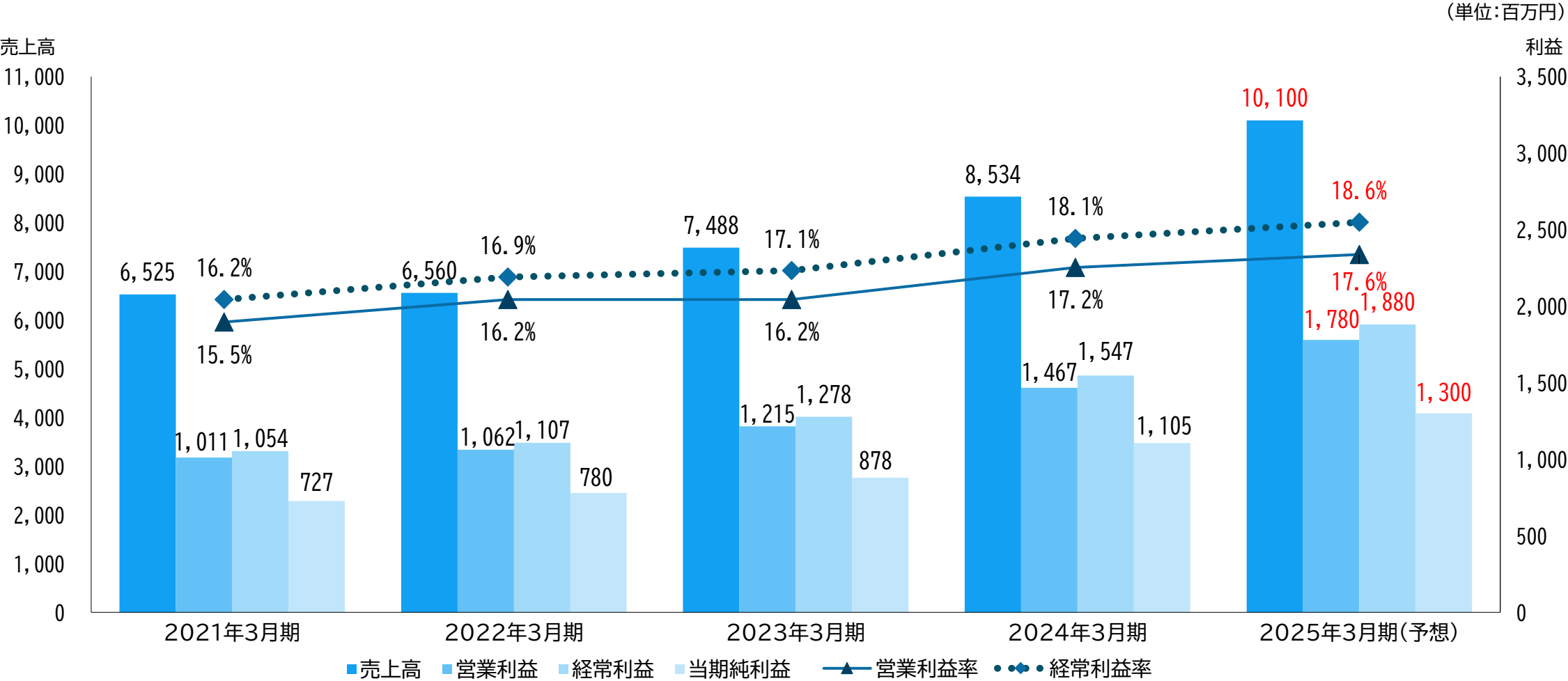
販売管理費 新入社員の増加などによる労務費の増加、研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 研究開発の補助金収入の増加などにより、増加を見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

業績の推移 | 通期業績の推移

8期連続の増収増益を目指す

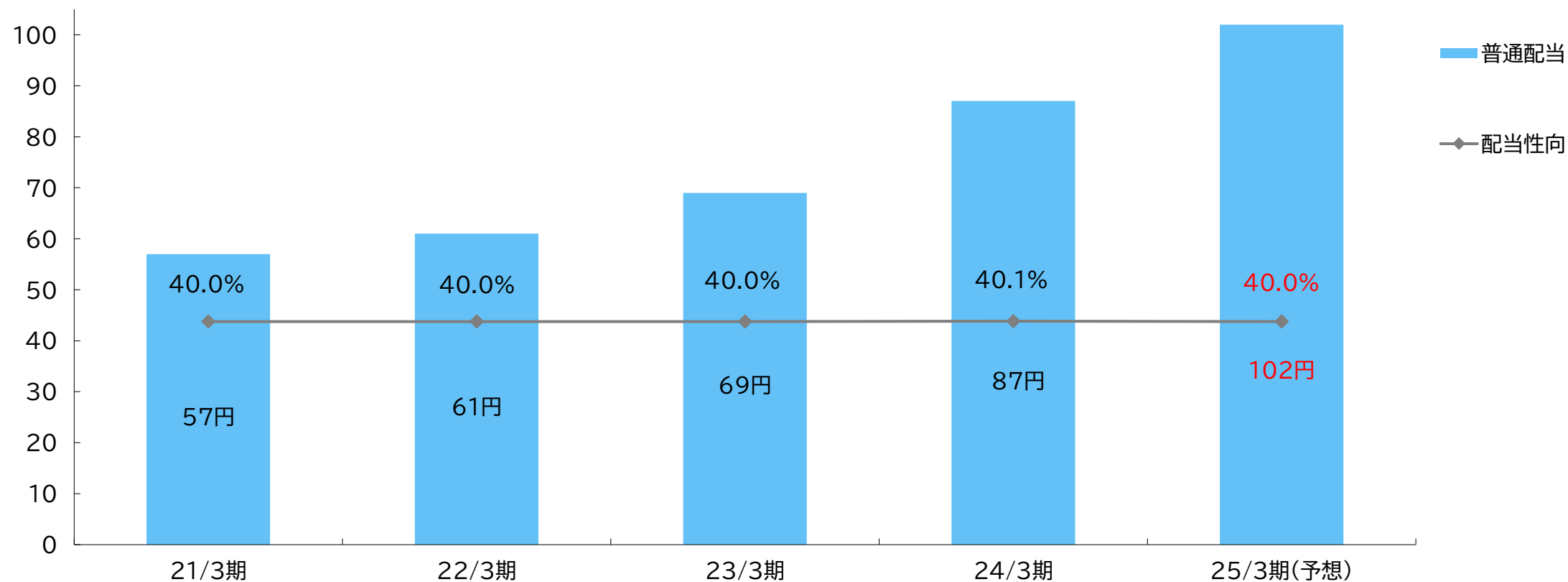


配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2025年3月期業績見通しの上方修正に伴い、配当予想を11月11日発表の1株当たり97円から102円に修正。

(単位:円)



ソフトウェアが主役の時代

個人・企業・国の競争力は、ソフトウェアで決まる時代

- ✓ 垂直統合型から水平協調型へ(日本発で世界を目指す)
- ✓ エッジコンピュータからクラウドまでワンストップなDXを推進
- ✓ 宇宙、複合現実、ロボットで人類の夢を叶える

